

社会・援護局「遺骨収集事業統括チーム会合」について

遺骨収集事業統括チーム会合について

遺骨収集事業統括チーム会合の概要

戦没者遺骨収集事業において、日本人でない遺骨が収容された可能性が指摘されながら、長年に渡り適切な対応が行われてこなかった事例を受け、令和元年10月4日に、遺骨収集事業の統括、企画及び進捗の管理を徹底するため、社会・援護局に大臣官房審議官（社会、援護、人道調査、福祉連携担当）を主査とする「遺骨収集事業統括チーム」（以下「統括チーム」という。）を設置。

統括チーム会合の主な議事内容（令和元年度及び令和2年度）

1 「戦没者遺骨収集推進法に基づく指定法人への指導監督等に関する有識者会議（令和2年度より「戦没者の遺骨収集事業に関する有識者会議」へと名称変更）」について

1) 有識者会議の準備状況、実施結果等について

- ・有識者会議の議題、日程、名称変更、実施方法について検討状況の報告を受けた。
- ・令和元年10月に報道された有識者会議の下に設置された「日本人でない遺骨が収容された可能性が指摘された後の対応に関する調査チーム」（以下「調査チーム」という。）からの依頼への対応状況を共有した。
- ・有識者会議の下に設置された「戦没者遺骨の所属集団の鑑定及び鑑定方法の検討等に関する専門技術チーム」に関する調整状況の共有及び同チームからの指摘等について検討状況の報告を受けた。
- ・有識者会議からの意見を踏まえた、戦没者遺骨収集事業及び事業実施体制の抜本的な見直しについて検討状況の報告を受けた。

2 遺骨収集事業の実施について

1) 遺骨収集の実施状況等について

- ・令和元年11月5日～令和元年11月13日までの樺太での遺骨収集について実施結果の報告を受けた。
- ・令和元年11月11日～令和元年11月21日までのマリアナ諸島での遺骨収集について実施結果の報告を受けた。
- ・令和元年11月30日～令和元年12月13日までのパラオ諸島及びビスマーク・ソロモン諸島での遺骨収集について実施結果の報告を受けた。

2) 新型コロナウイルス感染症の影響下における、遺骨収集事業の実施等について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、遺骨収集派遣等の中止の報告を受けた。また、事業再開に向けた検討状況及び対象国の状況について報告を受けた。
- ・令和3年1月21日～令和3年2月9日に硫黄島遺骨収集派遣を実施予定であったが、緊急事態宣言が発出されたことに伴い、中止とすることについて検討状況の報告を受けた。
- ・米国DPAA 管理下のアジア系遺骨で、日本人遺族との間で身元が判明した2柱をDPAA から受領するため、職員を令和2年11月21日から令和2年11月27日にかけてハワイのDPAA のラボに派遣することについて検討状況の報告を受けた。また、派遣結果の報告を受けた。
- ・戦没者遺骨収集事業及び事業実施体制の抜本的な見直しを踏まえた、遺骨の現地での保管のあり方等について検討状況の報告を受けた。
- ・令和2年度及び令和3年度の遺骨収集等実施計画について検討状況の報告を受けた。

3 遺骨収集事業の見直し及び遺骨鑑定業務の推進について

1) 日本人でない可能性がある遺骨が収容された事例に係る対応について

- ・調査チームから指摘のあったフィリピンの10柱について情報共有を行い、その対応状況の報告を受けた。
- ・令和元年12月4日のDNA鑑定人会議において新たに日本人でない遺骨が収容された可能性を指摘された7事例について情報共有を行い、その対応状況の報告を受けた。

2) DNA鑑定の実施方法等について

- ・所属集団判定のため、過去に遺骨を収容済である検体約1万件のDNA鑑定（STR分析）の実施に向けた検討状況及び委託状況の報告を受けた。
- ・次世代シーケンサによるSNP分析に関する委託事業の結果報告を受けた。
- ・戦没者遺骨鑑定センターへの所属集団判定会議、身元特定DNA鑑定会議の設置について検討状況の報告を受けた。また、鑑定体制の拡充についても検討状況の報告を受けた。

3) 南方等戦闘地域の遺留品等の手がかかり情報がない遺骨の身元特定のためのDNA鑑定について

- ・南方等戦闘地域の手がかかり情報がない遺骨の身元特定のためのDNA鑑定状況について情報共有を行い、試行的取組の結果、硫黄島の遺骨2柱とキリバス共和国タラフ環礁の遺骨2柱の計4柱の身元が特定されたことを踏まえ、今後の方針について検討状況の報告を受けた。
- ・DNA鑑定の結果身元が特定された遺骨について、自治体を通じて遺族に返還した旨の報告を受けた。

4) 遺骨収集事業等に係る関係省庁や関係国との連携について

- ・戦没者遺骨収集関係省庁連絡会議の開催について検討状況及び会議結果の報告を受けた。また、戦没者遺骨収集推進戦略について検討状況の報告を受けた。
- ・加藤厚生労働大臣（当時）によるDPAA出張（令和2年1月9日～11日）にあたって、必要な資料等の準備について検討状況の報告を受けた。また、出張結果の報告を受けた。

5) 遺骨収集の手順書の改訂について

- ・令和2年5月21日に公表した戦没者遺骨収集事業及び事業実施体制の抜本的な見直し方針に沿った、遺骨収集の手順書の改訂について検討状況の報告を受けた。また、日本戦没者遺骨収集推進協会の社員団体への説明会を実施した旨の報告を受けた。

6) 遺骨収集事業の周知について

- ・有識者会議での意見を踏まえ、遺骨収集事業に関する内容を充実させたパンフレットの作成について検討状況の報告を受けた。

7) 遺骨収集事業に関わる職員の研修や現地視察について

- ・職員の研修（職員の心得、収集・鑑定の手順等）の充実について検討状況の報告を受けた。また、研修結果について報告を受けた。
- ・援護担当審議官が令和2年9月29日から令和2年10月1日に硫黄島での遺骨収集に参加した旨の報告を受けた。また、令和2年11月11日に硫黄島の慰霊巡拝を実施した際に、援護企画課長等の幹部による硫黄島視察を行った旨の報告を受けた。